全国税

発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内（〒100-0013）
全国税労働組合
発行人　岡田　俊明
電　話（03）3581－3678
ＦＡＸ（03）3507－0886
振替口座　00140-2-68514

“税務の職場”何でも110番
zenkokuzei@aol.com
全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも一一〇番」を常時設置しています（電話とＦＡＸは上記の番号までどうぞ）。

◇全国税ホームページ◇
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

# もてあそばれた職員 納税者 税理士

明石署の巡回指導。中腰・肩越しの典型的業務。医者は「腰に最悪の姿勢」と指摘している。来年はやめにしよう。

## 来年も今年の継続では、最悪

### 倒れる

**（3月10日現在までの情報による）**

新潟県下で管理職が倒れた。千葉県下で個人課税の上席が倒れた。大阪府下で巡回担当の上席が腰痛になり病院へ。その医者に言われた。「（中腰・肩越しの）その姿勢は腰にとって一番悪い状態です。人間の頭は非常に重たい。まっすぐ立つことによって支えられている。頭をたれて背骨を曲げたら腰に一番負担がかかる」。

順番待ちの納税者が倒れ、救急車を呼ぶ事態が2件大阪であった。

相談事務に駆り出された税理士も巡回指導を強制され、「疲れる」とメロメロ。

### 表と裏

巡回指導の全国展開に踏み込んだ大武前長官は、「納税者がどっと増える。今までのやり方では対応できない。自書の徹底だ。代筆のような相談はしない。職員は懇切丁寧などという頭を切替えろ。サービスはＩＴ充実でいく」と確申期の転換哲学を職員に語った。

背景には「ハードなサービス」が吹っ飛んでいる個人課税の調査日数と件数の確保がある。

この大武氏、ＴＫＣの06年頭特別講演で「弱い人に対する思いやりの精神を失って、自分たちさえよければ」とならないように「『公』の心を忘れず、本当に弱い人に対する哀れみの情を持ちながら」税理士の使命を果たせと訴えた。

ＩＴ弱者、高齢の納税者もお構いなく突き放す仕事をさせておきながら、立派なことだ。税理士がカバーせよということかもしれないが……。

支援調整官から親切に対応せよとメールが次々と入る。何を言っているのかと、職員の心を逆なでした。

職員には、「交替制、休憩用いすの用意、昼休みは相談せず」を約束したが、相当数の署と外部会場で無視された。

### 山・山・山の山

誤りと訂正の山、苦情の山、謝りどおしの山、タッチとオフラインは未使用の山、残業の山、昼休み連続仕事の山、回付遅れの山。巡回指導方式は膨大な無理・無駄・無謀の山を築いている。

### 来年は

「突き放さなければ自書申告なし」は、確定申告事務の混乱と崩壊を招いている。所得税率の引下げに伴い、年金の源泉徴収も引き下がり、年金受給者の確定申告数はさらに増加する。

従事者の総意になってきたことは、1対3～4ほどの対面方式が納税者にとっても職員にとっても良い方式で、数もこなせるので来署者の増加にも対応できるということだ。

まだ確申期途中だが、事実に基づく真剣な議論を尽くし、来年は見直しを図るべきだ。

## 「休息」廃止を強行 7月から勤務時間延長へ

3月3日、人事院は強い反対を無視して、「休息時間の廃止に関する改正規則」を公布した。附則で18年7月1日からの施行を謳い、子育てと介護については3カ月間だけ施行を遅らせる経過措置をつけた。同時に、これから発遣する運用通達の内容も公表した。

### 原則は大幅延長 15分短縮は可能

休息時間を廃止し、休憩時間の原則を60分とした。その上で、「各省庁の長が、必要があると認める場合は、45分」の休憩時間に設定でき、その判断は「総合的に勘案して行う。なお、時差通勤官署等で現行が休憩・休息合わせて45分の官署は休憩時間を45分とすることが可能である」ことを通達で定めるとしている。

税務署の休憩時間を全国一律にするのか、時差出勤署とそれ以外の署で違えるのか、人事院は当局の判断しだいという。

### 庁の判断しだい 影響もろに

仮に違う設定となれば、配転の影響は出勤、昼休み、退庁時間に跳ね返り、地域手当も合わせると勤務地は職員の労働条件に重くのしかかる。

職場は全国に点在し、通勤手段や交通機関もまちまちで、退庁時間は15分といえども前倒しになるに越したことはない。当局の判断と選択は重いものだ。身上申告書も間近いが、当局はどうするのか。

### 子育て・介護で特例 経過措置は時差署のみ

特例の対象はA小学校就学前の子の養育、B学童保育の小学生を養育、C介護の、3条件のみ。これらの職員は、要件を充たせば休憩時間30分を選択できる。通学や通院は対象外とされた。

要件は、①配偶者が常態で子の養育をできる者でないこと（共働き、シングルパパ・ママが該当）、②子の養育や学童からの迎えの必要があること。介護は、介護の必要があることが要件になっている。

9月30日まで従前どおりでよいという経過措置対象者は、ABC3条件の職員で、かつ、時差出勤署で、いま休憩時間が15分となっている職員である。

3条件のみの特例や短期間の経過措置は評価に値しない。

**休息時間廃止による出退時間のパターン**

| 署別 | 対象者 | 休憩時間の設定 | 出勤時間別 | 退庁時間 |
|---|---|---|---|---|
| 時差署 | 特例職員 | 30分 | 8:30 | 5:00 |
| | | 30分 | 9:00 | 5:30 |
| | 一般職員 | 原則　60分 | 8:30 | 5:30 |
| | | 原則　60分 | 9:00 | 6:00 |
| | | 45分なら | 8:30 | 5:15 |
| | | 45分なら | 9:00 | 5:45 |
| 時差署以外 | 特例職員 | 30分 | 8:30 | 5:00 |
| | 一般職員 | 原則　60分 | 8:30 | 5:30 |
| | | 45分なら | 8:30 | 5:15 |

## どうする当局！　身申にはなんと

## 最後の勤評？ 希望はハッキリと

給与構造の変更が4月からスタートする。

勤勉手当や昇給・昇格で大きく差がつく制度となり、そのための人事評価も信賞必罰型に変わることになる。

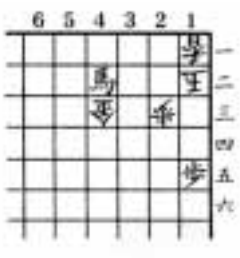
昇給日が全公務員1月1日になる関係で、昇給に反映する評価は年末に実施することになる（今年は現9級以上で試行し、その後全職員に広げる）。

勤勉手当への反映もあるため、評価の時期や方法・回数がいままでとはならないだろう。

もうすぐ身申・勤評の時期。地域手当・出退勤時間も変る。希望はハッキリと示そう。

## 詰将棋

**〈出題〉** 九段　西村一義
中級クラス
**〈ヒント〉** とどめは馬の活用で……。
（10分で初段）
持駒　金銀桂



## そろばん弾

自民・公明・民主3党は、憲法を改定するための国民投票法案の共同提出に向けて作業を進めています。国民投票法案とは憲法96条で定められた改正手続きを準備するためのものです▼自民党は、昨年11月の結党50年の大会で新憲法草案を決定しました。9条2項を変えて「自衛軍」をつくり、国際貢献の名の下に海外での戦争を可能にすることを狙っています▼今、イラクに自衛隊が派遣されていますが、幸いにもイラク人に銃をむけたり殺すことだけはしていません。それは憲法9条の歯止めがあるからです▼いま全国各地に「9条の会」が生まれています。平和憲法を変えさせないために声を上げましょう。

新研修制度

# 「最適化」に最適？ 機能別移行をにらむ

採用時研修の見直しと「専攻科（仮称）」を19年度から新設するという伝達が全職員にあった。

しかし、研修見直しは伝達されたものだけではない。税務を取巻く環境の変化に応じて、次の見直しを行うとしている。

●本科・専科＝事例によるトレーニングを増加。研修生の特性に対応した研修内容への変更。本科の縮小を踏まえ、「本科の在り方」を検討。

●総合研修＝より実務的な審理能力向上に向けて研修内容の見直し。

●e-learningの活用＝通信研修・総合研修で併用。特に通信研修の事前学習（自習）で、e-learningを活用する。

●国際租税セミナー＝基礎コースは本科・専科研修に取込み、その在り方を検討。実務コースは渉外と調査の２本立てを一本に統合。

……

新設の「専攻科」について当局は、「審理と事務管理の中核になる職員の育成」が目的だと伝達したが、当局によると「税務行政運営にもマネジメント（組織管理体制の整備、運営面の分析・解析能力等）が必要」でそのための要員育成をはかるとしており、税目別を取払った「事務管理」能力の養成に力点が置かれている。

また、Ⅲ種採用の初任者基礎研修では、各事務系統に必要な複数税目の習得、応用能力の習得に力点を置くとしている。

内部事務の一元化、複数税目同時調査・相談の「最適化」への対応を、職員育成の面から手を打とうという狙いだろう。

「機能別」の税務行政と機構改革を前提とした動きだが、既存の職員はどうなるのだろうか。

# 4・14 財務・金融行動 行動なくして前進なし

昨年の行動。官民総ぐるみの包囲行動で解決を迫った。

「諸悪の根源、財務省」に対して、国民いじめ・労働者いじめの諸政策転換を求める要請行動を全国税は税関の仲間とともに行ってきた。財務キャリア官僚が天下っている国民生活金融公庫などでも実に同じ労働者いじめが行われ、この行動に参加する民間の仲間も大きく広がっている。

４月14日、財務省、金融庁、国税庁、日銀、全国銀行協会との交渉や財務省包囲行動を展開する。12時、財務省前に集まろう。

# 津波のような公務員攻撃に 効果抜群の「テレ・メル行動」

民主党の「偽メール」問題で予算案もスンナリ衆議院を通過し、公務員攻撃の「行革国会」が始動している。公務員攻撃を公約にしている民主党が失敗挽回のために輪をかけた攻撃に転じる恐れも大きい。マスコミも攻撃側にたっている。

行政の切売りや公務員の定員削減が、社会のひずみを危険水域まで高めている現実がはっきりしてきた。また、公務員の給与や年金切下げをテコとして、労働者全体の切下げや国民に負担増を押し付ける戦略もはっきりしている。

政府や民主党の公務員攻撃に、私たちは臆することなく対峙する。

**■効果あり　この行動**

マスコミ関係者の話では、テレビ番組に関して視聴者からの電話やメールが５００本以上入ると世論動向として影響を受けるという。

有権者の反応に敏感な政党ではなおさらで、全政党が意見の受付をＩＴで用意している。

国税職員だけで６万人弱。家族も含めて10万単位の数が集中すれば、動きを規制することにつながる。

政党の動き、マスコミ報道を注視し、意見や抗議を理性的に堂々と電話やメールで伝えよう。

誰でもできる行動で効果もおおきい。名づけて「テレ・メル行動」にあげて取り組もう。

**公務員攻撃オンパレード**

**●「公共サービス改革法案」上程。行政を入札で官民取り合い。国税の業務は法案には入っていないが、今後の課題に。**

**●「行革推進法案」上程。５年間で５％定員純減。10年間で総人件費をＧＤＰ比で半減が目標。庁当局は国税もかぶると危機感。**

**●人勧の給与調査企業を50人規模以上に（現100人）。給与下がり賞与は大幅減に。今年からの動きあり。**

**●共済年金の「職域加算」原則廃止。恩給名残の税負担分削減。保険料を厚生年金と統一（共済側は引上げ）。退職公務員の給付減額を検討。以上、自民党の方針。**

**●成果型人事評価を現9級以上で18年末に試行実施し、19.1.1の昇給発令に使用。一般職員は19年末から？**

**●公務員処分指針作成へ。免職や降格がビシバシ可能に。**

**●公務員宿舎の売却推進。**

# ●退職金はどうなるの？

**問**　18年４月以降の退職金はどうなるのか？

**答**　給与法改定と連動して退職手当法も成果反映型に改定された。本則どおりなら退職金は大幅減額になる。

しかし、経過措置により18年３月31日、つまり切替え前の本俸でかつ旧制度で計算した額が、18年４月以降の本俸と新制度で計算した額より高い場合は、その額が保障される（同じ退職理由での比較が前提）。

経過措置の期間は設けられていないが、過去勤務の確定分は保障する趣旨であり、当分続く。

# トリノとちゃうちゃう♪♪ 楽しく滑ったスキー♪♪

やはりスキーは八方だ！
ビックなゲレンデに来年はぜひあなたも

冬季オリンピックは４年に１度。全国税のスキーのつどいは毎年だ。オリンピックに負けていない！

今年も１月27日より八方尾根スキー場に全国から45人が参加してスキーと温泉を楽しみ、交流を深めた。

上級者が回転競技のコースアウトばりに激しく転倒というシーンも。口にはださないもののトリノを意識して滑っていたに違いなく、みんなに冷やかされていた。

全員ケガもなく日程を終え、来年の再会を約束しあった。

## なんでも個人のせいにするなよ

**【埼玉支部】**

最近、当局は接遇に力を入れているようだ。それはいいが、どうも考えが間違っているのではないか。例えば最近配信された「納税者から見た印象は」（納税者支援調整官）の中で「職員のチョットした気配りのある応接態度が好感を与えます」と述べている。

納税者から様々な意見はあって当然だが大事なのは、それをどう分析検討し、今後に活かすかだ。それぞれの意見がどういう状況でうまれたか、個別指導では、集合指導では、巡回指導ではどうか。そういう背景抜きにただ「職員のチョットした気配り」を強調するのは責任を職員個人になすりつけていると言わざるを得ない。そんなものは「仕事」ではない。

## クライマーじゃなくクレイマー

**【江東東分会】**

この季節、増えるのは「クレイマー」と呼ばれる人々。山を登る人のことではありません。税務署だけでなく「お客様は神様だろ。丁寧な対応は当然だ」と、電話などで何かとクレームをつけようとする人たちをさす造語。クレイマーは専門分野に長けている。曖昧な回答をすると待ってましたとばかりにクレームをつける。クレイマーにぶち当たった職員は大変だ。

減価償却計算など紙に書いて来署したおじさんが突然キレた。大声で「相談に来ているのに一つしか聞かないで他人の相手をする。失礼ではないか」と。多数相手の職員は、順番に応対していると理解を求めるが席を立ってしまった。

ここは〈下町の人情〉かハイソサエティが集まる署よりはましなようだ。それにしても職員の言葉遣いやしぐさ一つを取り上げて声を荒げる人が増えている。年代や性別に違いはなく日本人全体の傾向となってきているのだろうか……。

## 確申最盛期突入 職場はマジ切れ寸前

**【近畿地連】**

番号札？　もらってみれば入場券
（納税者Ａ）

巡回は伝言ゲームか？　訂正の山
（事後処理担当）

怒鳴り声、朝から　マジ切れＴＥＬ担当
（Ｄ特官）

タッチパネル　立ちっ放しで　日が暮れて
（バイト職員）

説明会、机運びで　ギックリ腰
（Ｅ上席）

自書申告、　来署すること再々々
（納税者Ｂ）

前倒し、ダウン寸前　まだ初日
（Ｆ調査官）

巡回のない署を　探して巡礼行
（納税者Ｃ）

## 詰将棋

**〈解答〉** ▲１三金△同玉▲２五桂△２二玉▲３三銀△１二玉▲１三桂成△同玉▲３一馬△１二玉▲２二馬まで11手詰。

**〈解説〉** 初手▲１三金が好手。△同玉に▲２五桂から▲３三銀と追撃して７手目▲１三桂成が決め手で、▲３一馬でピッタリ。